

■平成30年度 在宅医療・地域包括ケアの推進に係る保健福祉事務所事業実施状況（研修・講演会）

事務所	区分	テーマ等	参加者数	成果等	今後の課題	平成31年度実施予定 研修・講演会・出前講座 開催回数	今後取組む必要がある 事業
平塚	-	-	-	-	-	-	-
秦野	講演会	テーマ 「いのちを見つめて、いまを生きる」 対象 秦野市民、伊勢原市民、医療看護介護等の専門職 講師 音羽山観音寺 副住職 ※秦野会場	450名	住民に対し、エンディングノート、ACPの普及啓発および在宅療養に関する情報提供ができた。	人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発を3年間行ってきたが、その評価指標が明確ではないため、適切な事業評価ができていない。市民向け普及啓発を受け、専門職側の受止めについても把握していく必要がある。	普及啓発講演会：2回	「退院支援」「日常の療養支援」「急変時の対応」「看取り」それぞれについて、入院医療機関と在宅医療介護関係機関および行政が共に学び検討できる①課題共有②意見交換③研修④普及啓発等の事業が必要。
		テーマ 「いのちを見つめて、いまを生きる」 対象 秦野市民、伊勢原市民、医療看護介護等の専門職 講師 伊勢原駅前クリニック院長、音羽山観音寺 副住職 ※伊勢原会場	144名	運営を通して、医師会および医療・介護事業所との連携が図れた。			
	研修会	テーマ「第1回 在宅医療介護関係者の研修」 対象 秦野市内医療機関・医療・看護・介護等の専門職、行政職員等（訪問看護、ケアマネ、包括、医・歯科診療所等） 講師 いらはら診療所 在宅医療部長	66名	多職種からなるグループワークによる事例検討を行い、多様な視点から「退院支援」を考えることができた。	在宅医療介護機関だけでなく、管内12病院を含めた、連携強化するための場を継続していく必要がある。	医療介護連携の研修会：5回	
		テーマ「第2回 在宅医療介護関係者の研修」 対象 伊勢原市内医療機関・看護・介護等の専門職、行政職員等（訪問看護、ケアマネ、包括、医・歯科診療所等） 講師 いらはら診療所 在宅医療部長	64名				
		テーマ「第3回 在宅医療介護関係者の研修」 対象 管内精神科医療機関・医療・看護・介護等の専門職、行政職員等（訪問看護、ケアマネ、包括、医・歯科診療所等） 講師 いらはら診療所 在宅医療部長	68名	H28年より研修会・講演会は管内2市との共催で企画・実施しているため、地域全体の課題に対して共有および取組みができています。またその活動を通して日頃から市との連携強化が図れた。			
		テーマ「在宅医療と介護連携 ～意義と活性化に向けて～」 対象 医療・看護・介護等の専門職、行政職員等 講師 (独)国立病院機構 副理事長	87名				
		テーマ「終末期を迎える患者への支援」「口腔ケアの重要性」 対象 医療・看護・介護等の専門職、行政職員等 講師 伊勢原駅前クリニック院長、あめみや歯科医院院長	95名				
出前講座	テーマ 「かかりつけ医を持ちましょう～神奈川県在宅医療状況について～」 対象 健康伊勢原サポーターの会員 講師 平塚保健福祉事務所秦野センター保健師	24名	住民に対して、かかりつけ医に関する理解、在宅医療の理解が進んだ。	住民に対する在宅医療の普及啓発の継続。	随時		

事務所	区分	テーマ等	参加者数	成果等	今後の課題	平成31年度実施予定 研修・講演会・出前講座 開催回数	今後取組む必要がある 事業
鎌倉	講演会	地域包括ケア講演会「人生の最終章 どう迎えたいですか ～自分で決めたい自分のこと～」 講師 山崎 章郎氏（在宅緩和ケア充実診療所 ケアタウン小平クリニック 院長）	120名	住民が、終末期について具体的に知り、最期の迎え方を考える契機とすることができた。	・終末期について住民が我が事として考え行動する地域づくりへの支援が引き続き必要。 ・在宅医療介護連携拠点担当者等の広域的な情報共有や事例検討等が必要。	講演会 1回 研修 1回	・住民向けの啓発 ・担当者向け研修
三崎	研修	-	-	-	-	三浦市が主体となって実施する在宅医療ミーティング（年2回）・在宅医療・介護多職種連携研修（年2回）を支援	地域包括支援センター等における人材育成を目的とした研修会への支援
小田原	講演会	講演 演題「どこで最期を迎えたいですか～生き・病み・死を迎える時、自分や家族、地域ができること～」 講師 ケアタウン小平クリニック 院長 山崎 章郎（やまざきふみお）氏	110名	地域住民等へ在宅での看取りについての理解を深めることができた。	地域に浸透させていく継続的な取組。	講演会 1回	研修・講演会等
足柄上	研修	第1部 介護予防事業の取り組み パネル展示「ご存知ですか？2市8町の介護予防事業」 運動 「コグニサイズを体験しよう」 講師 かながわ健康財団 高垣茂子氏 第2部 講演「フレイル対策に向けた3本柱～健康生活（健康寿命）は健口&食べることから～」 講師 東京都健康長寿医療センター研究所 社会科学系研究副部長 渡辺 裕氏（歯科医師）	67	多職種で、それぞれの現場で頑張っているということ、1部のパネル展示・運動で紹介できた。 口腔機能低下の影響と筋力低下、社会性の減少してくる。そのために歯科医師と多職種の関わり⇒関係機関がかかわりを持つことの重要性を感じた。	足柄上地域のコメディカルの連携・チーム医療について、ワークショップなどで情報交換するなどの希望にこたえていく企画を検討する。	研修会 市町単独での取組みが困難な分野や広域性・専門性が必要な分野に関する取組みへの支援。	
厚木	研修	「看取り介護施設交流研修会」全5回 対 象 看取り介護未実施高齢者福祉施設（5施設） 講 師 看取り介護実施施設 内 容 看取り介護の取り組みための情報提供及び意見交換	26名	各施設の実情や課題に応じて先進的に取り組んでいる施設から具体的な事例・アドバイスを受けることで、看取り介護への取り組みについて具体的なイメージを持つことができ、また課題が整理されたことで看取り介護の取り組みが容易となった施設もあった。	・看取り介護の取り組みを検討する施設を増やし、看取り介護の充実を図る。 ・研修終了施設に対する看取り介護の実施に至るまでのフォローアップが必要。	引き続き交流研修を開催予定（5カ所程度）	・高齢者施設における看取り介護の充実に向けた研修や普及啓発。 ・看取り介護実施のための、看取り加算の手続き等制度に関する相談等の個別支援。
	研修	介護支援専門員を対象とした訪問歯科診療・口腔ケアに関する研修会	153名	在宅療養における口腔ケア・入れ歯の調整等訪問歯科診療の重要性をケアマネジャーに周知することができた。	導入にあたり、家族の理解がハードルとなっているため、ケアマネが家族を納得させられるツールが必要。	ケアマネが家族に対して訪問歯科の内容や効果を説明できるよう研修を予定（回数未定）	家族向け訪問歯科診療・口腔ケアのリーフレットを作成し、ケアマネや主治医などとの連携強化に努める。
大和	研修会	「居宅療養管理指導を活用した好事例」「在宅歯科医療連携室の活動」 対象：大和市・綾瀬市内の医療機関（医科・歯科）と薬局、大和市・綾瀬市の地域包括支援センター、行政職員等	46名	在宅療養管理指導を活用する意義や居宅歯科医療連携室の活動内容について理解する機会となった。在宅における多職種連携の重要性を再認識することができた。	今後の取組みについては、市へのヒアリングや所内での打合せ等をもって検討していきたい。	研修会 1回	在宅療養管理指導および居宅歯科医療連携室の活用に関する体制整備の促進